



事故責任を曖昧にしてはならない！

誰の責任を追及するのか

先月号で原発事故の告訴状を紹介しました。南労会闘争集会の講演の中で佐藤昭夫先生も告訴人になったと話されています。誰の責任を問うているのか報告します。(ホームページより抜粋。見出しは編集委員)

被疑者は三十三名+東電

1. 本日、大月純子(告訴・告発人代表)ら一万三二六二名の者は、福島地方検察庁検事正堺徹に

対して、今回の福島第一

原子力発電所の事故に
関して、東京電力前会長
勝俣恒久ら三十三名を業
務上過失致死傷罪、公害
罪及び激発物破裂罪の被
疑事実で、法人としての
東京電力株式会社等を公
害罪の被疑事実でそれぞ
れ刑事告訴・告発した。

訴えられた者の一覧

3. 被告訴・告発人

(1) 国

経済産業省原子力安全
保安院(三名)
院長 寺坂信昭
元院長 松永和夫

同 広瀬研吉

原子力安全委員会(七名)
委員長 班目春樹
前委員長 鈴木篤之
委員 久木田豊
同 久住静代
同 小山田修
同 代谷誠治
専門委員 衣笠善博
原子力委員会(一名)
委員長 近藤駿介

文部科学省(四名)

坂東久美子
前生涯学習政策局長
山中伸一
前初等中等教育局長
合田隆史
前科学技術政策局長

布村幸彦

前スポーツ青少年局長

(2) 放射線専門医

(三名)

山下俊一 福島県放射
線健康リスク管理ア
ドバイザー(福島県
立医科大学副学長)
神谷研二 福島県放射
線健康リスク管理ア
ドバイザー(福島県
立医科大学副学長)
高村 昇 福島県放射
線健康リスク管理ア
ドバイザー(長崎大
学大学院医歯薬学総
合研究科教授)

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

(3) 東京電力取締役ら

役員(十五名)

東京電力の経営陣のトップとして安全対策をせざるに原子力事業を推進した責任者

勝俣恒久 取締役会長
西澤俊夫 取締役社長
清水正孝 前取締役社長
相澤善吾 元常務取締役

取締役副社長・原子力立地本部長
田村慈美 元取締役会長
南直哉 元取締役社長
荒木浩 元取締役会長

東京電力の原子力立地本部長ないし副本部長など東京電力の中で、職務上福島第一の安全対策をすすめる立場にあった役員

鼓紀男 取締役副社長・

元原子力立地本部副

本部長

小森明生 常務取締役・

元原子力立地本部副

本部長

藤原万喜夫 常任監査役・

監査役会会長・元原

子力立地本部副本部

長

武藤 栄 元副社長・

元原子力立地本部副

本部長

武黒一郎 元副社長・

元原子力立地本部長

部長

服部拓也 元副社長・

元原子力本部副本部

長

榎本聡明 元常務取締役・

原子力本部本部長

吉田昌郎 元執行役員・

前東京電力福島第一

原発所長

(以下、過失の内容を抜

粋して列挙します)

過ちは何か

第1 耐震設計指針改訂

の際、具体的な津波対策

を講じなかった。

第2 津波対策が必要と

されたのにこれを怠った。

第3 過酷事故対策を怠っ

た(東京電力関係)

スピーディーを公表せ

ず、また生徒・学生の避

難基準を改悪(二〇ミリ

シーベルト)し、安全宣

言を繰り返して住民避難

をさせず、又は遅らせた。

逮捕者まで出して
猛毒まきちらすのか

十一月二十九日と三十日、

此花で被災地からのガレキを試験焼却が強行され

た。橋下・松井は多くの疑問や批判に一切答え

ないまま。十一月十三日

の名ばかり説明会では数

百名の私服・制服警官を

導入し、四名も逮捕!

事前調査では相当量の

アスベストも検出。市民

調査では焼却後、放射能

の空間線量がアップした

との報告がある。ガレキ

は利権!本焼却ストップ

しろ。逮捕者を

釈放しろ!

